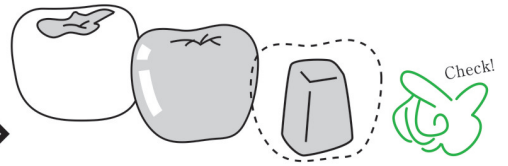
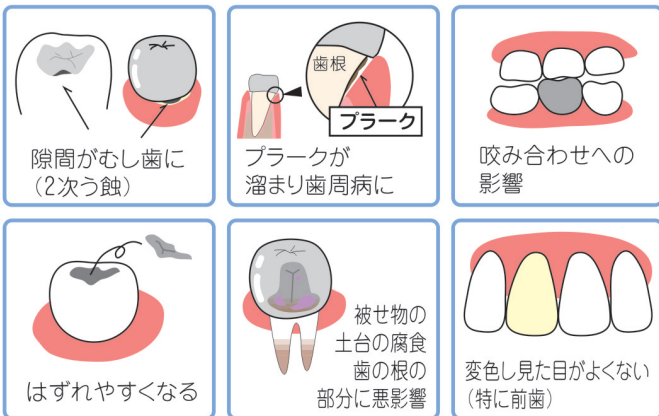


定期的な チェックで

不適合な詰め物・ 被せ物の対策を。

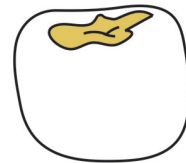


詰め物、被せ物、被せ物の下にある金属の土台、セメントなど治療に使用した材料は年月とともに劣化します。そして、劣化した状態を何年も放置すると、様々な影響がでてきます。



被せ物・詰め物の状態は患者様ご自身ではわかりません。不適合な被せ物・詰め物は早い段階で発見し、やりかえることで歯を長持ちさせます。何年も歯科医院へ行ってない方はチェックが必要です。ご家族にそのような方がいる場合は、早めの健診を勧めてあげてください。

保険は適用されませんが、次のような物もあります。



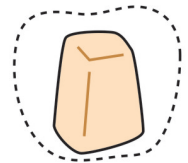
◎ゴールドの詰め物

しなやかで歯との適合が良く詰め物と歯の隙間がでにくい



◎セラミック系の被せ物

汚れが付きにくく変色しにくい



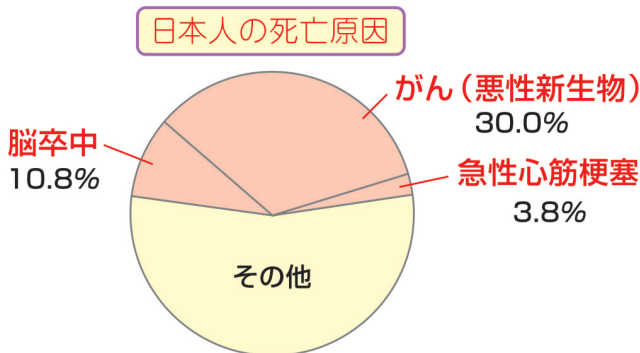
◎グラスファイバー系材料を使った土台

腐食しない、歯の根っこにやさしい

これらの材料は被せ物・詰め物が長持ちするだけでなく、歯を長持ちさせることにも。お気軽にご相談ください。

全身と歯周病の関係

日本人の死亡原因の多くを占める3大疾病。その内の2つ脳卒中と心筋梗塞は歯周病と関連性があることが分かってきています。



歯周病が進行すると歯周病菌が血液中に入り込みやすくなります。そして、歯周病菌や炎症性物質が動脈硬化を促進し、脳卒中や狭心症(心臓の血管を狭くしたり)、心筋梗塞(詰まらせたり)します。

動脈硬化を起こしている血管から歯周病菌が見つかったり、歯周病の人は歯周病にかかっていない人に比べて心筋梗塞が多いといった研究結果もいろいろ報告されています。

歯周病は全身の様々な健康に関係しています。

動脈硬化

呼吸器疾患

歯周病

心臓病

糖尿病

早期低体重児出産

3大疾病の予防には、正しい生活習慣やバランスのよい食事も大切ですが歯周病の予防も大切なようです。お口も体も自覚症状が現れる前の受診を心がけましょう。